

グラジェント分取分析クロマトグラフ

株式会社島津製作所製

設置場所： バイオナノテクノロジーセンター（片柳研究所棟 6階）



LC-8A 送液システム、SIL-10AF オートサンプラー、SCL-10A システムコントローラー、CTO-10AC カラムオープン、SPD-M10A フォトダイオードアレイ紫外可視検出器、FRC-10A フラクションコレクタ、サンプルクーラー等の組み合わせからなる液体クロマトグラフシステムです。

装置の特長

LC-8A は高い吐出圧力（ 300kg/cm^2 ）、広い流量レンジ（ $0.1 \sim 150\text{ml/min}$ ）を持つ、分取クロマトグラム用、分析カラム用の送液ポンプです。

オートサンプラーにシステムコントローラーを組み合わせることにより、試料注入時間短縮のための試料注入モードを実行することができます。

CTO-10AC はカラム温度を一定に保つための恒温槽ですが、室内より低い温度でもコントロールできます。

SPD-M10Avp 紫外可視検出器は、フォトダイオードアレイを採用し、重水素ランプとタングステンランプの光を混合させる光学系の採用により、 $190\text{nm} \sim 800\text{nm}$ にわたる広い波長域の吸収スペクトルを瞬時に測定できます。

フラクションコレクタ FRC-10A は、微量から大容量まで幅広い分取に対応し、フラクションの冷却も可能で、ピークの分割方式も多彩です。純度検定分画も利用できます。